議案審査での質疑を PICK UP！

市長から提案された令和８年度一般会計補正予算などの議案等について、議案審査特別委員会を設置して、これに付託の上、審査を行いました。

議案審査特別委員会の映像はこちら

医療的ケア児を支える相談・支援体制の整備

医療的ケア児とその保護者が安心して地域で暮らせるよう、日常生活に関する相談対応や支援サービスの調整など、必要な支援を総合的に受けられる体制を整備するとのこと。

対象者は日々の医療的ケアに加え通院対応など多大な負担を抱えていることから、医療的ケア児の成長に応じた切れ目ない支援と相談体制を構築すべき。

高校生年代の医療費自己負担を１割に

子ども医療費助成制度を拡充し、令和９年４月から、高校生年代の医療費の自己負担を１割にするとのこと。

医療費の助成は子育て環境を整える上で非常に重要なことから、拡充後の利用実態を把握し、制度の維持・継続に向けて必要な財源を確保すべき。

全国和牛能力共進会開催に向けて

令和９年度の十勝開催に向けた機運醸成を図るため、学校給食での地場産和牛を活用したメニュー提供や、飲食事業者の地場産和牛を活用したメニュー開発などを支援するとのこと。

和牛提供店舗の実態把握や消費拡大効果の検証のほか、地場産和牛を食育や観光資源として定着させるため、関係者が連携し継続的な取組みを行うべき。

第13回全国和牛能力共進会
北海道大会
マスコットキャラクター
和ぎゅリー

宿泊税の活用

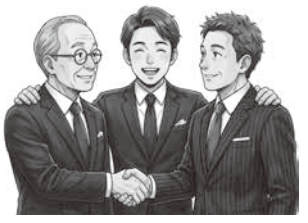
夜間イルミネーションイベントの開催やおびひろ氷まつりでの国内最大級の氷彫刻展示、体験型コンテンツの充実、観光案内の体制整備などを行い、宿泊を伴う滞在型観光の促進やまちなか観光における滞在時間延伸につなげるとのこと。

事業実施にあたっては、令和８年４月から導入した宿泊税を財源として活用することから、関係事業者との協議を深めるべき。

フードバレーとかち構想の推進

包括連携企業や管内外企業と連携した新商品開発などによる十勝産農畜産物の付加価値向上や十勝産品の販路開拓にかかわる取組みなどを支援するとのこと。

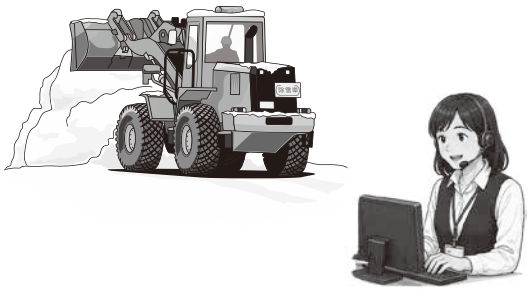
関係者同士のつなぎ役を担い、包括連携企業のブランド力を活用しながら効果的な商談につなげるべき。また、首都圏のアンテナショップと連携して、十勝産農畜産物の知名度向上を図るべき。



除雪運行管理システムの試験導入

除雪業者とオペレーターの負担軽減や業務効率化のほか、作業状況を市民に発信するため、除雪運行管理システムを試験導入して実用性を検証するとのこと。

除雪業者と意見交換を行いながら試験導入効果を検証するとともに、本格導入する場合の費用と財源確保策を整理すべき。



児童会館と百年記念館のあり方

児童会館と百年記念館の両施設は、老朽化による施設修繕や設備更新が課題となっており、計画的な整備が必要なことから、今後の施設のあり方を検討するため、施設の現況調査などを実施するとのこと。

今後の施設のあり方の検討にあたっては、現況調査の結果はもとより、市民や関係者などから幅広く意見を聴取すべき。

新シマウマ舎の整備

おびひろ動物園のシマウマ舎は、築50年以上が経過し、老朽化がすすんでいることから、新たなシマウマ舎の整備に向けて地耐力調査や実施設計などを行うとのこと。

万が一、シマウマがいなくなった場合にも活用が見込めるよう獣舎の汎用性を高めるべき。